



▶大判部門金賞：片山資朗さん『ペットと青春』井の頭公園は有名でも西園をご存知ない方は多いのではないのでしょうか。春から夏にかけての、動物と人間のふれあいがとても自然に表現され、愛らしいです。手前と画面奥のグリーンの色対称がとても素敵です。(ケイ・アンナ審査員)



▶大判部門銀賞：南雲公子さん『光陽』

▶サービス判部門金賞：榎本智治さん『静寂』国際的なイメージの強い国際基督教大学の敷地内の、和を感じさせる茶室です。難しい自然光をうまく生かして、武蔵野の面影をごく自然に表現しています。新緑の美しさ、コントラストが見事な作品です。(後藤審査員)



▶サービス判部門銀賞：飯塚伊左さん『春のひととき』



▶デジタル部門金賞：長野ミサ子さん『秋色』紅葉した小さな葉をここまできれいにクローズアップさせ、背景でマンションの存在感もきちんと表現しています。被写界深さが深いというデジタルカメラの特徴を上手に使ってうまく表現しています。画面構成や色のバランス共によい作品です。(後藤審査員)



▶デジタル部門銀賞：鈴木利男さん『ゲネプロ(総稽古)』

第8回 まちづくりフォトコンテスト 審査結果発表

「ここどこ? 三鷹」

第8回まちづくりフォトコンテスト(株まちづくり三鷹主催)には、今年も市内外から445点(大判部門178点、サービス判部門202点、デジタル部門65点)の作品が寄せられました。1月27日に、朝日カルチャーセンター・JCI I フォトクリニック講師の後藤九(あつみ)審査員(佐伯格五郎審査員代理)、タレントのケイ・アンナ審査員、主催者により厳正な審査が行われ入賞者が決定しました。表彰式は2月21日(金)午後2時から展示会場で行われます。◆応募作品展 2月18日(木)~23日(水)午前10時~午後8時(18日は午後2時から、23日は午後6時まで)、三鷹市美術ギャラリー(JR三鷹駅南口コラル5階)で。

【審査結果】 (敬称略)

- ◆大判部門
 - ◇金賞「ペットと青春」片山資朗
 - ◇銀賞「光陽」南雲公子
 - ◇銅賞「楽しい、ひととき」池口保 / 「丸池公園の静寂」河野弘 / 「サニーアフタヌーン」三上茂
 - ◇佳作「秋の遠足」石川不二雄 / 「玉川上水旅情」板橋久夫 / 「雪の日」井上佳計 / 「すいれんの咲く頃」重元泰治 / 「やったあ」吉野徳男
- ◆サービス判部門
 - ◇金賞「静寂」榎本智治
 - ◇銀賞「春の、ひととき」飯塚伊左
 - ◇銅賞「お兄ちゃん、どこ行くの」滝谷昭憲 / 「ヨーイ! スタート」中西周子 / 「夕暮れどき」溝呂木久
 - ◇佳作「でもんすどれーしょん」鈴木英雄 / 「夕影」中村博一 / 「三鷹の湧水」服部健一 / 「桜と案内人」三木幸子 / 「巣立ったけれど」峯岸重徳
- ◆デジタル部門
 - ◇金賞「秋色」長野ミサ子
 - ◇銀賞「ゲネプロ(総稽古)」鈴木利男
 - ◇銅賞「視線(めせん)」樋上寛 / 「雪化粧」藤田次郎 / 「ぼくがそだてたアゲハチョウ、はるはまだだよ」渡邊光基
 - ◆審査員特別賞
 - 「ひとやすみ」中西恒雄 / 「朝光」嘉義修 / 「笑い声」塩田史貴
 - ◆ミショップ賞
 - 「踊るは楽し」秋元辰夫 / 「焼立のソーセージ、はい、どうぞ」倉澤誠也 / 「本場餃子が、おいしいですよ」福原正雄 / 「外人さんも春うらら」生三信雄 / 「異文化コミュニケーション」水野文雄
 - ◆まちかど発見賞
 - 「地下道から未来へ」前田幸子 / 「井口院のおじぞうさん」金子葉子 / 「散歩道」小山育子 / 「ホットー息」藤田静枝 / 「鉄の体に燃える心」菊池輝彦

Beautiful People

2月28日(金)まで企画
2月29日(土)まで企画
2月28日(金)まで企画
2月29日(土)まで企画

2月28日(金)まで企画
2月29日(土)まで企画

2月28日(金)まで企画
2月29日(土)まで企画

私は貝になりたい

私は貝になりたい

私は貝になりたい

私は貝になりたい

ASANO Tadamobu

ASANO Tadamobu

ASANO Tadamobu

ASANO Tadamobu

戦争と平和をみつめて

みたか平和映画祭

時間	作品名
11:50~13:35	東京大空襲 ガラスのうさぎ 橋 祐典監督(1979年・日本映画)
14:05~15:35	ぼくは歩いてゆく アボルファズル・ジャリリ監督(1998年・イラン映画)
16:05~17:56	地雷を踏んだらサヨウナラ 五十嵐 匠監督(1999年・日本映画)
11:20~13:07	ビューティフル ピーブル ジャズミン・ディスター監督(1998年・英国映画)
13:40~15:34	私は貝になりたい 橋本 忍監督(1959年・日本映画)

チケットインフォメーション

三鷹市芸術文化振興財団

(三鷹市芸術文化センター内)

☎47-5122

http://mitaka.jpn.org/

チケットのお求め方法

- 電話予約 芸術文化センター☎47-5122
- 窓口販売 芸術文化センター/三鷹市美術ギャラリー/三鷹市公会堂
- ※発売日初日は電話での予約のみで窓口販売は行いません。
- 販売時間 10:00~19:00
- 休館日 月曜日
- プレイガイド チケットぴあ☎0570-02-9999

友の会MARCL(マークル)

財団主催の全公演のチケットが1割引(割引は2枚まで)で購入でき、優先予約日があるので、より良い席が入手可能です。また、発売日前に情報誌が届きますので、公演情報を漏れなく知ることができます(年会費2,000円)。くわしくは芸術文化センター☎47-5122へ。

★印の公演には託児サービスがあります。(対象：1歳半以上未就学児、定員10人、公演日の2週間前までに要予約)

芸術文化センター風のホール

ウィークエンド・マチネ・シリーズ12

★トウキョウ・ウインズ VS 田中靖人 VS 白石光隆

2月23日(水)14:00開演

全席指定/会員=2,000 一般=2,500 学生=1,300

◆終演後の交流パーティ(40名様・要予約)=3,000

出演/トウキョウ・ウインズ(岩佐和弘[Pf] 和久井仁[Ob] 赤坂達三[Ct] 藤田旬[Fg] 小川正毅[Dr]) 田中靖人(Sax) 白石光隆(Pf)

曲目/フランス：恋人たちのたそがれ、ピゼー(長生淳編曲)：アルルの女ほか

人気のクラリネット奏者赤坂達三ら、日本を代表する若手奏者による木管五重奏団「トウキョウ・ウインズ」。そこに、トルヴェール・クアルレットの田中靖人(Sax)と、ピアニスト白石光隆が加わり、美しい木管楽器の掛け合う音色とそれを支えるピアノの澄んだ音色のハーモニーを存分に楽しみ頂けます。

★「茂木大輔 シェフのおススメ」(第3シリーズ)

N響オーボエ奏者茂木大輔が、楽しくわかりやすい解説でクラシックの扉を大きく開くシリーズです。解説・指揮：茂木大輔

管弦楽：人間的楽器学管弦楽団

全席指定 各回 / 会員=3,000 一般=3,500 学生=1,800

◆第8回 大人のためのオーケストラ鑑賞教室「交響曲って何だろう(3)」~交響曲の父ハイドンの疾風怒濤とは?

3月8日(木)17:00開演

曲目/ハイドン：交響曲第70番、第31番、第45番「告别」より、第72番「疾風怒濤」と呼ばれた当時の社会思想を踏まえながら、ハイドンの交響曲の主要パーツを解説・演奏します。主要オーケストラの首席奏者がソリストとして勢揃いします。

◆第9回 J.S.バッハの誕生日に贈る名曲集

3月21日(水)17:00開演

出演/東京オラトリオ研究会(合唱指揮：郡司博)

バッハの傑作「ブランデンブルク協奏曲」の第3、4、6番を演奏し作品にまつわる謎を解説するほか、「ヨハネ受難曲」からの抜粋で合唱曲などをお贈りします。

★佐野成宏テノール・リサイタル

4月10日(水)19:15開演

全席指定/S席完売

会員：A=2,700 一般：A=3,000 学生=2,000

佐野成宏はプラシド・ドミンゴ国際声楽コンクールを始めて国際コンクールで上位入賞を果たし、現在イタリアを中心にコンサートやオペラに出演、30代にして日本を代表するテノール歌手の一人として活躍しています。情熱を内に秘めたその華やかさがよく歌声は歌曲の美しい旋律と力強さを私たちに気づかせてくれます。

三鷹市公会堂

★「第十四回 みたか弥生能」

3月1日(木)16:00開演

★綾戸智絵 2 days Live

3月18日(水)19:15開演

「綾戸智絵 ソロ・ライブ」

3月19日(木)19:15開演

「綾戸智絵 ジャズ・ライブ with 宮野弘紀(ギター)、佐藤「ハチ」恭彦(ベース)、中村真(ピアノ)」

全席指定/会員=5,400 一般=6,000

第1夜は綾戸の弾き語り、そして第2夜は綾戸が心底「惚れる」ジャズメンたちを相手に、本物の「綾戸流」JAZZをお届けします。残席わずかですので、お早めどうぞ。